

ちいき活動応援セミナー*女子C a f e*第5回
 ~子どもの未来とふるさとのために私ができること~
 テーマ「木村真樹さんから学ぶファシリテーション講座」結果

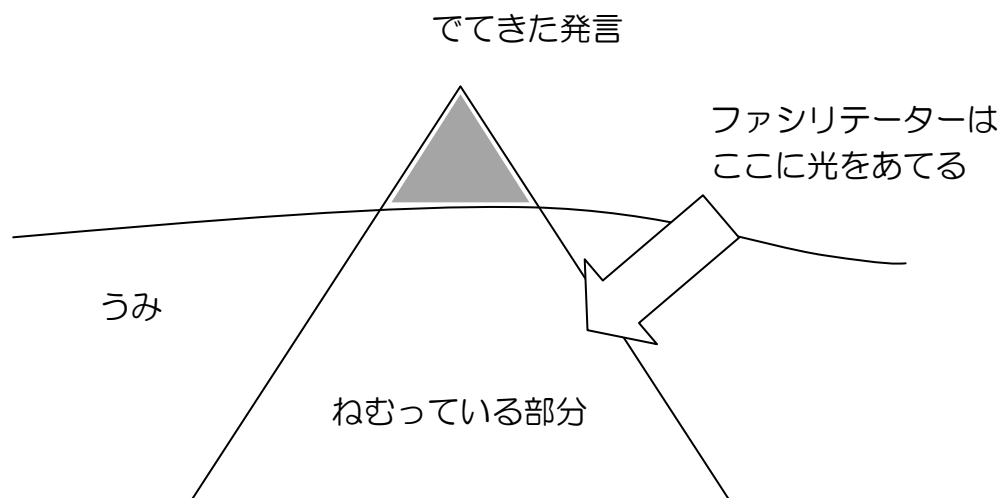


日時	平成25年1月26日(土) 14時~16時30分
場所	みのかも文化の森研修室
内容	東海各地で変革を起こしている木村真樹さん(コミュニティ・ユース・バンク momo 代表理事)から、人を大切にする会議の心構えなど学びました。また、参加者自身の体験から、どのような会議がよい会議か、悪い会議かを出した後、参加者を代表して5人の方が「よい会議をするチェックリストづくり」をテーマに会議する様子をほかの人が見学する、というユニークな手法で勉強しました。
ファシリテーター	コミュニティ・ユース・バンクmomo代表理事の木村真樹さん
参加者数	合計13名 事務局4人
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・第4回結果(グループワークご意見のまとめ、アンケート結果) ・第6回案内 ・連絡シート ・アンケート

記録(敬省略)

遠藤	本日第5回は、コミュニティ・ユース・バンクmomo代表理事の木村真樹さんから、活気ある会議はどうすればできるか、教えていただきます。
ファシリテーター 木村真樹さん	私は愛知淑徳大学で授業を持っていますが、「教えないから育つ」と考えています。本日もどんな場になるかわかりません。私もみなさんと同じように場のニーズ=知りたいこと、学びたいことを考え進めたいと思います。うなずきも場をつくる参加の方法です。みなさん、ご協力よろしくお願ひします。では、本日の参加者のみなさんがどのような思いで参加されてみえるか教えてください。
Hさん	私はブラジル野菜をつくり、料理教室を開催したり、外国籍の子どもたちと交流しています。
Bさん	ワールドカフェを主催したとき、参加者の中に引く人がいて、場づくりは難しいと思いました。
Cさん	5年程前から農業をはじめ、デイサービスでも働いています。本日はファシリテーターって何だろうと参加しました。
Mさん	第3セクターの会社のスタッフとしてワークショップを開催しています。

- Jさん 以前東京で人事の仕事をしていました。会議では盛り上がらないこともあり、難しいと思います。現在は1歳の子どもの親として、女性の活躍できるみのかも地域づくりに参加したいと思います。
- Eさん いろいろな場所で話し合いの機会があります。ファシリテーターは何をするのか興味があります。
- Iさん 職場以外の人とコミュニケーションをとりたいと思います。
- Gさん 3人の子どもの母です。みのかもファーマーズ倶楽部で惣菜づくりを担当しており、会員みなさんとしっかりつながる方法を知りたいと思います。
- Dさん ブラジルから来日して14年目になります。ブラジルの野菜づくりを通してブラジル人と日本の交流が進むよう、ファシリテーションを活かしたい。
- Aさん 大人になったら、もっと子どものことを考える大人になりたいと思っていました。原発についても賛成・反対でなく、みんなで話し合うことが大切だと思います。
- Kさん 以前、会議で思いが通じたときワクワクしました。
- Lさん Dさんにさそわれました。
- 木村さん 「あなたがファシリテーターです」と言われるとほかの人はお客さんになってしまいます。また、活性化するばかりがよい会議とも言えません。原義であるFacilitateとは、促す、引き出す、簡単にするという意味だそうです。ファシリテーターは意見を短くまとめて書くこともしますが、誘導してしまう怖さもあります。また、発言しなくても納得している人もいたりするので、表面的に出てきたものだけで判断できません。ファシリテーターは眠っているところに光をあてることに注力することが重要です。こんなとき、話しやすい小さなグループワークを取り入れることもあります。人を大切にする、心に寄り添うことはだれでもできることです。私は、会議は社会をよくする力を持っていると思うので、大切だと思います。



木村さん ではみなさん、よい会議、悪い会議はどのような会議だと思いますか？

よい会議	悪い会議
思っていることが言える 全員が発言できる（参加） 反対意見をきちんと受け止める 結論が出る まとめる人がいる 時間内に終わる 最後に不満がない 疲れたと思わない 結論ありきでない 会議のための会議でない	自分を出せない 限られた人だけが発言する 寝ている人がいる 結論が出ない 目的がしっかりしていない 理念（大きな目的）がない テーマにのれない 関心がない 主体性がない 身分や序列（あて職）がある 役割が決まっている

木村さん どうしたらよい会議ができるでしょう？グループで話し合い、おひとり代表者になって発表してください。

[発表]

Aグループ

目的を会議の前に共有する。
 意見の出にくい人の不安を取り除いたり、反対意見も言えるよう気楽に話せるようにする。

Bグループ

わかりやすい言葉で目的を周知する。
 目的にかなった人に参加してもらう。
 話し合いのグループは小さくする。
 進行役、書く人を決める。
 話す人は簡単にまとめて話す。
 会議時間は1時間程度にし、息抜きも設ける。

Cグループ

学校でディベート学習などを勉強する。
 相手の言う事をきく＝耳を傾ける。
 相手の気持ちも尊重する。

Dグループ

ブラジルでは話さないとわかりません。
 最初は人と成りを話して、信頼感や安心感を持ち、話してもいいよという雰囲気をつくる。他の話題になってもいいと思います。
 座る場所、開催時間でも気持ちが変わると思います。

木村さん

momoは月に一度理事会を開催しています。なるべく早く全員に口を開いてもらうよう、一人1分の近況報告の時間をとります。役割（準備する人、タイムキーパー、議事録作成者など）も定めます。議題ごとにファシリテーターも変えることもします。そうすると、みんながファシリテーターを経験できます。きくことも参加の方法です。うなずきで場が活性化もします。「聞く」は自分の都合のいいようにきくこと、「訊く」は相手の意見を引き出す

こと、「聴く」は相手に寄り添ってきくこと。「聴く」が一番大切なことです。グループワークをする場合、その前に個人ワークをすると自分で考える時間を持つことができ、伝えやすくなります。グループワークでは、いろいろな意見がでるため、ファシリテーターは、発表者の発表の後に「ほかの人に補足はありませんか？」と質問すると、自分の思いを言える人がいます。そういった配慮があるといいでしょう。

Dさん 会議で脱線する場合、どれくらいならよいでしょう？

木村さん momoの会議では、ホワイトボードの左肩に本日決めたいことを書いておきます。脱線し過ぎたとき、ここを指差すと自然に戻れるようになります。ほかに、会話が脱線していることを正直に話して、参加者にどうしましょう？と協力してもらってもいいでしょう。

木村さん では次に「会議を見学する」ことをしてみましょ。テーマは「よい会議をするためのチェックリストづくり」です。協力していただける方5人お願いできますか？

[鈴木さん、後藤さん、高嶋さん、中嶋さん、村雲さん]

会議の結果は別紙のとおり

木村さん どうもありがとうございました。

はじめに個人ワークをしたことがよかったですね。個人ワークも人に見せるか見せないかの前提で緊張感が変わります。役割を決めたこともよかったです。途中、書記の方が自ら「私、書記が苦手なんです」という発言はよかったです。弱さの情報公開は、他人の自主性を促すことになります。気づいたこととして、書く時は全て書くことも重要です。これは「みなさんの意見をきいています」という合図です。28分の時間の使い方、成果のイメージを最初に共有できるとよかったです。ある程度方向が見えた段階で、グループを分けて（準備と当日など）もよいです。

ファシリテーションは、働きかけて引っ張り出すのではなく、意見や能力をはっきりさせること、はっきりさせる状況をつくることが重要と思います。意見や能力をはっきりさせる、はっきりできる状況をつくることです。そして阻害しているものは何か、また、それを取り除くためには何をするとよいかを考えます。こうした能力はコミュニケーションで養われていきます。

遠藤 女子C a f e 第6回のお知らせ

日時：3月23日（土）午後2時～4時30分

場所：みのかも文化の森研修室

テーマ：あなたの会議を開催します！